

「円山動物園の魅力向上及び来園者等の利便性向上に関するサウンディング型市場調査」の実施結果(概要)について

動物園敷地において、来園者の利便性や満足度の向上、動物園に隣接する円山球場、円山陸上競技場等のスポーツ施設利用者、近隣住民の利用も想定した施設の設置についての検討を行うために、動物園の更なる魅力向上を行う上での園内施設の整備・運営に関する条件の等を収集することを目的として、サウンディング型市場調査を実施いたしました。

この度、調査結果を取りまとめましたので、その概要を公表いたします。

1. 対象用地・施設の概要

所在地	札幌市中央区宮ヶ丘3番地
土地・延床面積	円山動物園全体：224,780 m ² 本調査の対象となる面積：最大 845 m ² (既存建物面積：225 m ² その他駐車場、ウッドデッキ)
本調査の対象敷地 既存建物の概要	構造：鉄骨造合金メッキ鋼板ぶき平屋建 階数：1階 建築面積：226.50 m ² 竣工年度：2008年 ※更地想定でのご提案も可能。
土地建物の権利状況	土地は札幌市、建物は現在の使用許可を受けている者の所有
地位地区等	北海道神宮風致地区(第1種) 札幌市景観計画区域、埋蔵文化財の包蔵地外
都市設備	上水道、公共下水道、北海道ガス、北海道電力
現況	建物は、現在の公園使用許可を受けている者の所有であり、付帯施設の詳細確認や譲渡契約等は、所有者と直接交渉が必要となります。業種等条件によっては、譲渡不可、更地引き渡しの可能性有り。
公園施設の設置許可・ 使用料	円山動物園内の施設の設置については、都市公園法に基づく、設置許可が必要。 また、使用料については、札幌市都市公園条例により1 m ² 1月につき460円(公募の方法による場合は、460円に500を乗じて得た額以内の額)と定められている。

2. 個別対話

- (1) 日時：令和3年8月5日(木)～8月10日(火)
- (2) 場所：札幌市円山動物園 動物園センター内動物園プラザ
- (3) 参加者：3事業者

3. 結果概要

- (1) 提案数等
 - ・3事業者から3つの提案があった。
- (2) 提案施設
 - ・飲食施設、飲料・軽食・雑貨・土産屋等販売店舗、情報発信の場などの提案があった。
 - また、飲食店舗と物販などの複合店舗の提案もあった。
- (3) 事業期間
 - ・15年から20年程度とする提案があった。
- (4) 施設の規模
 - ・既存の建物の活用を前提とし、施設規模を活かした提案があった。
 - また、対象用地以外の園内施設の利用についても提案があった。
- (5) 事業者
 - ・参加事業者の業種は、飲食販売サービスで実績のある事業者であった。
 - ・本社を道内に置く企業、道外に置く企業のそれぞれからの提案があった。
- (7) 行政に求めること
 - ・既存の建物の活用を望む意見が多くあった。
 - ・昨今の事情では調査対象施設単独で年間を通じて収益を確保するのは難しいことが想定されるとの意見があった。
 - ・使用料の減免を希望するほか、他事業と併せて事業を行いたいとの提案があった。
- (8) その他
 - ・収益について、来園者が減少する冬の集客について具体的な対策の提案もあった。
 - ・収益施設の周辺環境についての提案・意見要望があった。
 - ・対象施設周辺の樹木の取り扱いに関する質問があった。
 - ・対象用地・施設以外に係る事業者の関心についても把握することができた。

※事業者名、具体的な提案内容等については、各事業者のノウハウ、アイデアに係るため、非公表扱いとしています。

4. 今後の予定

提案内容や意見要望などを参考にして、公募に向けて準備を進めます。